

飯山市教育懇談会（木島小学校区）発言要旨

平成28年11月1日（火）木島小学校ランチルーム

参加者19名

1. 開 会

2. あいさつ

自己紹介

3. 説 明

- (1) 『飯山市教育大綱』について
- (2) 『家庭学習のすすめ』について
- (3) 飯山市児童・生徒の現状と課題について
- (4) 木島小・城南中学校の現状と課題について
- (5) 学校別児童生徒数推移
- (6) 中学生の進路先について

4. 懇 談

○今後出生数は半減するのではないかと、地域で価値ある子育てを考える必要がある。

小学校教育も中学校教育もほかの市に負けないような教育体制の中で確立してほしい。小学校を卒業するときには英語で自己紹介ができるくらいになるといいなと考えます。

それから、飯山市の自校給食はよい。この人口規模で自校給食を行っているのは飯山市くらいしかない。

もう少しコストを下げた子育て支援に回すなど、小中一貫校を目指すのも研究してほしい。

○中学に入り生徒数が減り、部活数が少なくなったという話を聞く。これまで続けてきた練習ができなくなったというのは残念。

社会体育への参加等、違う選択肢もあるが、学校でも部活の活性化を図ってほしい。

子どもがやりたいことをのびのびできる環境があれば、親も背中を押すことができる。

○児童数生徒数が少ないために学校合同で部活を行っている聞いたことがある。飯山だと城南と城北で共同して市バスによる送迎などを行い練習等できるのではないかと。

通学方法については、通学方法検討委員会で検討され運行が始まったが、実際に今シーズン12～3月の乗車率・利用率等も親へ資料として出していただきたい。城北の岡山地区の飯山線で通う子どもたちについて、戸狩以北の飯山線が不通になった場合、親による

送り迎えは問題になっている。不通時の親の負担は大変なので通年バス運行にならないか。城南城北お互いの状況を知る機会がないので両方が集まる機会を検討してほしい。

特別支援学級の子たちへの対応について、小中連携含めて実際のところどうなのか具体的な資料があるといい。

コミュニティスクールのコーディネーターについて、どのような形態になっているのかお聞きしたい。

(学校)

城南中の部活動は、H26 年度に今後の生徒数の減少に伴う部活数の減少について話し合いがもたれたが、地域の方の協力もあり、外部指導者制度を導入。顧問が一人の時は外部指導者の協力を頂く形で部活数は減っていません。外部指導者の協力も得て、人数が少ない部活も活動しています。

(教育委員会)

通学方法については、H22 年の統合にあたり中学校統合計画に基づき基本方針を定めました。今年度の城南中移転に合わせ通学方法を再検討し 2 学期から運用しています。乗車率は事業者と連携しながらとっていきたいが、基本的には対象の生徒全てが乗れるというのが前提の考えとなります。

6 キロ以上の地区には、公共交通がある地域は公共交通を利用いただく形です。岡山地区は JR、あるいは路線バス利用です。大雪等の際はその都度考え対応したいと思います。

(教育委員会) 特別支援教育について

各学校には 2 種類の支援学級を置いています。多い学校で小学校 3 学級、少ない学校で 1 学級。その子に合ったきめ細やかな支援・指導を行っています。

市の単独予算で市費加配で、木島小学校にも特別支援教育支援員を配置していますが、年々さまざまな支援を必要とする子が増加傾向にありますので、できる限り加配を増やしなから、子どもたちが力をつけていけるようにしていきたいと思っております。

(学校)

飯山市の中にも文科省型と信州型のコミュニティスクールがありますが、地域に根差し、地域の方々の力をかりて、新しく組織を作るのではなく、これまで続けてきた活動を活かす方向ですめています。地域あつての学校ですので、コーディネーターの方は地元の方々を中心に頼んでいます。

(教育委員会) 英語教育の充実について

2020年に小学5,6年生の英語が教科となり、英語活動が3,4年生に広がります。飯山市ではこれに対応するため英語学習について検討委員会を立ち上げ検討する予定です。議会に承認されたら、中学3年生の英検受験料を半額補助したいと思っています。小学校では今のALTの体制がよいのか、ALTを増やした方がよいのか。現場の先生と相談していきたいと思っています。飯山市版カリキュラムなどをつくり、どここの学校の先生が担当しても一定以上の英語教育ができるように進めていきたいと考え準備中です。

これからの児童にとって英語は大事なことでと考えていますので、話すこと・書くこと・コミュニケーション能力が子どもたちにつくように進めていきたいと考えています。

○木島小は養護学校との交流がありとても良い雰囲気だと思う。太鼓の発表で城南中へ行ったが、友達が大勢いて楽しんで帰ってきた。特別支援という名がついているということは特別なので大事にさせていただき、もっと認めてもらいたいと思っている。銀嶺際にも城南中の生徒が手伝いに来てくれ、保護者の目から見てもありがたいと思った。城南中・木島小・養護学校の連携をこれからも期待したい。

○資料4ページ中学校3年生の学習時間が多い方の2時間以上に注目するより、30分しか勉強しない生徒数が全国平均の半分に減っているというところに注目すべきでないかと思う。それを全体的にあげるということではないかと思う。

(教育委員会)

与えられた宿題はきちんとするが、プラスアルファの時間があるかないかが、相対的な時間の差になっていると考えております。ご指摘ありがとうございます。